和四十一年 一 月	和 四十 年十一月
日	日
効力発生	ロンドンで作成

昭

昭和四十一年

昭和 昭 和 昭和四十一年 一 四十 年十二月十六日 四十 年十二月 三 日 月 一 日 署名 効力発生 署名の閣議決定

昭和四十一年 二 月 四 H 告示

(外務省告示第二二号)

九五八年国際砂糖協定の再延長議定書

第二条 第 前

適 協 定の 用

除 外 効 規 力 定 0 存

. — 条

続

------ 一六八

目

次

一六五

〔参考〕	末文	第 八 条	第七条		第六条	第 五 条	第 四 条	第 三 条
千九百五十八年の国際砂糖協定の有効期間の延		寄託国政府の通報事務	分担金の支払	ない国の取扱い	協定第三十三条又は第三十四条に掲げられてい	効力発生	署名及び加入	加盟手統 ····································

の再延長のた

この議定書の当事国政府は

一日に効力を失うこととなることを考慮し、協定(以下「協定」という。) が、千九百六十五年十二月三十り。) により有効期間が延長された千九百五十八年の国際砂糖九百六十三年の議定書(以下「千九百六十三年の議定書」とい千九百五十八年の国際砂糖協定の有効期間の延長のための千

まで、一定の期間について協定を存続させることを希望し、国際連合の主宰の下に、新たな国際砂糖協定が効力を生ずる

に検討する意図を再確認して、協定に代わる新たな国際砂糖協定のための可能な基礎を緊急

次のとおり協定した。

第一条

き続き効力を有する。十六年十二月三十一日まで、この議定書の当事国の間で、引い、協定は、第二条の規定に従りことを条件として、千九百六

PROTOCOL FOR THE FURTHER PROLONGATION OF THE INTERNATIONAL SUGAR AGREEMENT OF 1958

The Governments party to this Protocol,

Considering that the International Sugar Agreement of 1958 (hereinafter referred to as "the Agreement"), which was extended by the Protocol of 1963 for the Prolongation of the International Sugar Agreement of 1958 (hereinafter referred to as "the 1963 Protocol") will expire on 31 December 1965;

Desiring to continue the Agreement in force for a further period pending the entry into force of a new International Sugar Agreement under the auspices of the United Nations;

Reaffirming their intention urgently to consider possible bases for a new International Sugar Agreement to replace the Agreement;

Have agreed as follows:

ARTICLE 1

(1) Subject to the provisions of Article 2, the Agreement shall continue in force between the parties to this Protocol until 31 December 1966. Should a new International Sugar Agreement enter into force before that date, this Protocol shall cease to have effect on the date of the entry into force of the new International Sugar Agreement.

となるものとする。となるものは、これにより、有効期間が延長された協定の当事国の、協定の当事国でなかつた政府で、この議定書の当事国とな

第二条

規適 定用 除外

ないものとする。 条、第四十二条並びに第四十四条⑷及びイクの規定は、適用され条、第四十二条並びに第四十四条⑷及びイクの規定は、適用され

(b) 批准、受諾又は承認を条件としてこの議定書に署名した。(c) となることができる。

加盟手続

(1)

第三条

各政府は、次のいずれかの方法によりこの議定書の当事国

(c) この議定書に加入すること。

後にこれを批准し、又は承認すること。

とするものであるかどうかを正式に述べなければならない。が、自国の憲法上の手続に従つて批准、受諾又は承認を条件の 各署名国政府は、この議定書に署名するに際し、その署名

Any Government which was not party to the Agreement but which becomes a party to this Protocol shall thereby be deemed to be a party to the Agreement as extended in force.

(2)

ARTICLE 2

Paragraphs (2) and (3) of Article 3, Articles 7 to 25 inclusive, Articles 41 and 42 and paragraphs (4) and (7) of Article 44 of the Agreement shall be deemed to be inoperative.

ARTICLE 3

Governments may become party to this Protocol

 Ξ

- (a) by signing it; or
- (b) by ratifying, accepting or approving it after having signed it subject to ratification, acceptance or approval; or
- (c) by acceding to it.
- (2) When signing this Protocol each signatory Government shall formally state whether, in accordance with its constitutional procedures, its signature is, or is not, subject to ratification, acceptance or approval.

第四

- (1) 政府及び協定第三十三条又は第三十四条に 二十三日までロ 0 一政府による署名のため開放しておく。 との議定書は、 ンドン 千九百六十五年十一月一日から同年十 /で、 千九百六十 三年 掲 の議定書 がげるそ の他 0 当 の 事 玉 玉 月
- (2)١, 認書又は受諾書は、 連合王国政府に寄託するものとする。 批准、 承認又は受諾が必要とされる場合には、 グレート・ブリテン及び北部 アイルラン 批准書、 承

(2)

- (3)行ならものとする。 部 開放しておくものとし、 定第三十三条又は第三十四条に掲げる国の (アイルランド との議定書は、 連合王国政府に加入書を寄託することにより 千九百六十五年十二月二十三日 加入は、 グレート・ブリテン及び北 政府の 加入の・ の後は、 ため 協
- (4)される。 開 する票数については、 条若しくは第三十四条に掲げられてい 十五年の国際連合砂糖会議に招請され 放しておく。 との議定書は、 ただし、 また、 まず、 国際 加入を希望する政府が 理事会と当該政府との間 連合の加盟国政府又は千九百六 ない た政 もの 府 で協定第三十三 理事会で行使 の加入のため で合意

第五 条

効力発生

(1)

ح の議 定書 は 千九 百六十六年一月一日までにこの、定書

九五八年国際砂糖協定の再延長議定書

ARTICLE

 $\widehat{\Xi}$

- Protocol and by the Government of any other Agreement. country referred to in Articles 33 or 34 of the Inclusive, by the Governments party to the 1963 London from 1 November to 23 December 1965, This Protocol shall be open for signature
- ed with the Government of the United Kingdom of quired, the relevant instrument shall be deposit-Where ratification, approval or acceptance is re Great Britain and Northern Ireland
- by deposit of an instrument of accession with the referred to in Article 33 or 34 of the Agreement, After 23 December 1965 this Protocol shall open Britain and Northern Ireland Government of the United Kingdom of Great for accession by the Government of any country

(3)

(4)

accede shall first be agreed upon by the Council in the Council by the Government desiring to vided that the number of votes to be exercised to in Articles 33 to 34 of the Agreement, pro-Nations or any Government invited to the United by the Government of any Member of the United This Protocol shall also be open for accession with that Government Nations Sugar Conference, 1965 but not referred

ARTICLE G

Ξ This Protocol shall enter into force on 1 January

六十三 7 セ .当事 入国の れらの ントを有 を生ずる。 准 玉 書 年 · の議 政 票数の六十パー となつた 府は、 受諾 するも **殿定書** 書、 政 ĸ Ď 千九百六十 府 で より有 承認書又は なけ 0 間 七 効期 で、 'n ント及び輸 五年 ば 同 加入書 ならな 間 日 が 十二月三十 VC 延長された協定に 効力 出 \searrow 国 を生ずる。 その |の票数 そ 0 お寄託 後に寄る 日に、 ると 0 ただし、 十パ 託 Н 基 千 3 ーづき 九 効 n 1 f

- (2)H しく 合 する旨 千九百六十 憲法 ħ えるか その Ŧ. 、は承認 上 玉 どうかを計 通 政府が千 0 0 手 涌 筶 -六年 告 , 続 に は を 従 七月一日 九百六十六年 グ 又 (1)つて id K 算 する際 規 1 これ できる限りす 定する百 ٢ 前 K にこの議 K ブ 加入する 1) 考慮さ 分率 月 テン及び北部 みや 'n 日 よう努力する 定書を批准し、 れ る。 うい 前 か VC. 受領 Ϊζ 7 の 7 要件 1 미 する場合 能 ル ことを約 受諾 ラ が なとき ン 満 ١, た
- (3)をそれら かつたときは、 が できる。 との 議 Ø 定 政 書 が 府 Ŧ 第三条の 九 間 で効 百 六 力 要 + 作を満 -六年 を生じさせることに同 月 たし 日 た政府 までに は、 . 効 ح 意すること 力を生じ の議 定 た 書

第六条

三十 Ġ れる政府 協定又は ĮΨ 一条に 摇 又は国に ح だげられ の 議 定 てい 書 言及する場合に K ない お 5 7 国であつて、 特定 は、 の条に列 協定第三十三条又 その政府 記 3 が千九百六 n え又は掲 ú 第 げ

1966 among those Governments which have by that date become parties to this Protocol, provided that such Governments hold 60 per cent of the votes of the importing countries and 70 per cent of the votes of the exporting countries under the Agreement as extended by the 1963 Protocol on 31 December 1965. Instruments of ratification, acceptance, approval or accession deposited thereafter shall take effect on the date of their deposit.

In calculating whether the percentage requirements referred to in paragraph (1) of this Article have been met, a notification containing an undertaking to seek ratification, acceptance, approval or accession in accordance with constitutional procedures as rapidly as possible and if possible before 1 July 1966, received by the Government of the United Kingdom of Great Britain and Northern Ireland before 1, January 1966, shall be taken into account.

(2)

(3) If by 1 January 1966 this Protocol has not entered into force, the Governments which have satisfied the requirements of Article 3 may agree to put it into force among themselves.

ARTICLE 6

Where reference is made in the Agreement or in this Protocol to Governments or countries listed or referred to in particular articles, any country not referred to in Articles 33 or 34 of the Agreement the

+ b 千九百六十三 るものとみなす。 <u>7</u>U は、 年一月一日 それぞれ 年 前に協 Ø 議 当 定 書若 定 該 特 の 定 当事国となつたもの又はその政 しくはこの の条に列記され、 議 定書 ō 叉は 当事国となつた と掲げら n 府

7

が

-E

定める。 ح 度の予算を承認 十八条の規定に基づく自国 0 理事会は、 議 定書の当事 との議 国政府 及び各参加国政府 定書に基づく第一回会 は その憲法上の手続に従つて の分担金を支払りことを約 が納 が期にお 付すべき分 5 て、 担金を 東す 協定 当該

第八 条

(1)書 加 7 入、 の政府 0 九 クレ 効 百 ガ 六 第 1 五 + 発 ĸ ٢ 条 (2) 生 拉 \mathcal{T}_{1} . 年 0 フ IJ 0 0 日を直ちに 規定に従つて受領した通告並びに 玉 テ との議定書 際 ン 連 及び北 合砂 通 部 告するものとする。 の署名、 糖会議に代表者を派遣したすべ アイルランド連合王国政 批准、 受諾、 ح 承認及び の 府 議 は 定

(2)付するもの ス ペイ ح は 北部アイ 一の議 ン語 その 定 書 とする。 の本文をひとしく正 認証 ルラン は、 謄 英 <u>۱</u>* 語 本 を各署 連 合 中国語、 王. 名 国政府に寄託 国 文とし、 政府及び フラン ス語、 グ 各 する 1 加 入 b ١ 玉 Ŏ シ |政府 ア語 ブ 1) に送 テン 及 同 Z

九五八年国際砂糖協定の再延長議定書

be deemed to be listed or referred to accordingly. a party to the 1963 Protocol or to this Protocol, shall the Agreement before 1 January 1964, or has become Government of which either has become a party to

shall approve its budget for the year and assess the pay their contributions under Article 38 of the Agreecontributions to be paid by each Participating Govern-At its first session under this Protocol the Council ment according to their constitutional procedures. ment Governments party to this Protocol undertake to

ARTICLE

(1)

of Article 5 and of the date of entry into force of notification received pursuant to paragraph (2) this Protocol, of each accession thereto, of each this Protocol ture, ratification, acceptance and approval of Nations Sugar Conference, 1965, of each signa-The Government of the United Kingdom of Great form all Governments represented at the United Britain and Northern Ireland shall promptly in-

(2) copies thereof to each signatory and acceding Northern Ireland, which shall transmit certified ment of the United Kingdom of Great Britain and This Protocol, of which the English, authoritative, shall be deposited with the Gover-French, Russian and Spanish texts are equally Chinese

government.

Governments, have signed this Protocol. been duly authorised to this effect by their respective IN WITNESS WHEREOF the undersigned, having

thousand nine hundred and sixty-five DONE at London the first day of November, one 委任を受け、 以上の証拠として、下名は、 この議定書に署名した。 このため各自の政府から正当に

(署 名欄 省略 Ŧ

九百六十

五年十一

月一

日

K

ンド

ンで作成した。

五年末に満了となるが、「もつて一九六三年に同協 れが五 定 成立 を更新する新協定が成 砂 糖 しな の価格安 かつたので、 定 を目 的 同 同 会 年 定 لح 立 し す 0 有効 なか 九月から十月に る一九 で一九 つた 期 間を二箇年 Ŧī. ため、 一八年の 六三年 . の 玉 かけてジュネ 百 議 延 協 定書 長定 砂 す 糖 Ø る議 規定中 をさら 協 定 定] Ø 玉 vc ヴ 書 有 で開 が際 効 作 砂 期間 箘 成され 糖理 年存続させる 催された国 が、 事会の機 た。 — 九 連 六三年末 同議定書の 砂糖 構のみを ためにこ 会議 K 有効 ō K 存 においても新協定有効期間が一九六 7 続 議 定書 させる L たが、

が

成さ

B

的 同 を

千九五十八年の国際砂糖協定の有効期間 の延長のための議 定書

昭 和三十 八八年 八月 日 п ン ۲, ン で作 成

昭 和三十九年 月 H 効 力発生

和三十 和三十 九月 -+ 日 署 名 Ø 閣 議 決定

年 九月二十三日 署 名

六 日 並びに告示議定書の訳文及び英文

昭 昭 昭 昭

和三十

九年三月

和三十

九年

 \exists

効

力発生

(外務省告示第二十五号)

(訳文) との議定書の当事国 政府は、

との議定書の当事国政府の間で存続させることを希望し、 に開放された国際砂糖協定 百 「五十八年十二月一日から二十四日までロンドンで署名のため 千九百六十三年の国 |際連合砂糖会議の最終決議に従い、 (以下「協定」という。) の効力を 千九

基礎を緊急に検討する意図を再確認して、 この協定に代わる新たな国際砂糖協定の草案のための可能

な

次のとおり協定した。

九五八年国際砂糖協定の再延長議定書

THE INTERNATIONAL SUGAR AGREEMENT OF 1958 PROTOCOL FOR THE PROLONGATION OF

of the United Nations Sugar Conference, 1963, to continue in force, as between themselves, the Inter-Desiring, in accordance with the final resolution The Governments party to this Protocol,

as "the Agreement"), from 1 to 24 December 1958 (hereinafter referred to national Sugar Agreement open for signature at London

Agreement to replace the Agreement possible bases for a new draft International Sugar Reaffirming their intention urgently to consider

Have agreed as follows

第一

千九百六十五年十二月三十一日まで、 で、 協定は、 引き続いて効力を有する。 第二条(2) 及び第三条の規定に従うことを条件として との議定書の当事国 一の間

第二

- (1)生ずる新たな協定の基礎及び構成について直ちに研究 加 するものとし、 国政府のため、 理事会は、 との議 また**、** 適当な勧告を含む報告書を作成する。 定書の有効期間 千九百六十四年六月三十日以前に、 の満了の日以前に効力を を開始
- (2)4: ずる場合には、 .たな協定がこの議定書の との議 定書 は 有効期間 同 時に終了する。 の満了の日前に 効力を

第三条

+ 四条(4)及び(7) 協定第三条(2)及び(3)、 一条及び第四十二条の規定は、 の規定は、 第 七条から第二十五条まで並びに第四 適用されないものとする。 効力を停止する。 協定第四

第 四条

によつてこの (a) 各政府は、 議定書の当 自 国 一の憲法 事 上の手続に従い、 国になることができる。 次のいず 'n かの手続

議 定書への 署名

until 31 December 1965. tinue in force between the Parties to this Protocol Article 2 and of Article 3, the Agreement shall con-Subject to the provisions of paragraph (2) of

ARTICLE

- Ξ propriate recommendations, to participating Protocol, and shall make a report, including apinto force not later than the date of expiry of this bases and framework of a new agreement to come The Council shall forthwith initiate a study of the Governments not later than 30 June 1964
- (2) Protocol shall thereupon terminate before the date of expiry of this Protocol, the In the event of a new agreement coming into force

ARTICLE

Articles 41 and 42 shall cease to have effect of the Agreement shall be deemed to be inoperative; 25 inclusive, and paragraphs (4) and (7) of Article 44 Paragraphs (2) and (3) of Article 3, Article 7 to

ARTICLE

in accordance with their constitutional procedures, Governments may become party to this Protocol,

(a) by signing it; or

- ける議定書の批准、受諾、又は承認 他 批准、受諾又は承認を条件とする議定書の署名の後にお
- (c) 議定書への加入

第五条

- (1) 年 第三十三条若しくは第三十四条に よる署名のため、 九月三十日まで、 この議定書は、 千九百六十三年八月一日 開放しておく。 ロンドンで、 協定の当事 掲げるその他 から千九百 国 の国 政府又は協定 の政府に 六十三
- 部アイルランド連合王国政府に寄託するものとする。(②)批准書、受諾書又は承認書は、グレート・プリテン及び北

(2)

- 政府の加入のため、開放しておく。することによる協定第三十三条又は第三十四条に掲げる国のブリテン及び北部アイルランド連合王国政府に加入書を寄託3)この議定書は、千九百六十三年九月三十日後、グレート・
- 数については、まず、理事会とその政府との間で合意される。なおく。ただし、加入を希望する政府が理事会で行使する票第三十四条に掲げられていない政府の加入のためにも開放しの国際連合砂糖会議に招請されたが協定第三十三条若しくは4 との議定書は、国際連合の加盟国政府又は千九百六十三年

- (b) by ratifying, accepting or approving it after having signed it subject to ratification, acceptance or approval; or
- (c) by acceding to it.

RTICLE 5

 Ξ

- This Protocol shall be open for signature at London from 1 August 1963 to 30 September 1963 inclusive, by the Governments party to the Agreement and by the Government of any other country referred to in Articles 33 or 34 of the Ageement.
- Instruments of ratification, acceptance or approval shall be deposited with the Government of the United Kingdom of Great Britain and Northern Ireland.
- After 30 September 1963 this Protocol shall be open for accession by the Government of any country referred to in Article 33 or 34 of the Ageement, by deposit of an instrument of accession with the Government of the United Kingdom of Great Britain and Northern Ireland.

(3)

(4) This Protocol shall also be open for accession by the Government of any Member of the United Nations or any Government invited to the United Nations Sugar Conference, 1963, but not referred to in Article 33 or 34 of the Agreement, provided that the number of votes to be exercised in the Council by the Government desiring to accede

第六条

(1)寄託される批准書。 それらの政府は、 0 日に効力を生ずる。 十パー 当事国となつた政府 と の づいて輸入国の票数の六十パ 議 セントを有するものでなければならない。 定書は、 千九百六十四 千九百六十三年 受諾書、 0 間 で、 承認書又は加入書は、 1 同 年一月一日までにこの議定書 日化 セント及び輸出 十二月三十一日に、 効力を生ずる。 玉 その寄 その後に の ただし、 (票数の 協定に

(2)憲法 当該政府 定に基づくこの議 十四年一月一日 加入するように 、書と同 ·九百六十 グレ 上の手続に従つてできる限りすみやかに、) } 合 が憲法 書、 様 の日まで前 には、 四年 の効力を有するものとする。 受諾 ブリテン及び北部 アイルランド 七月一 上の手続を終了することについての 前に受領した場合には、 努力することを約束する旨の通告を千 書、 千九百六十四年七月一日以後の理事会が 定書の 記 の期限を延期することができる。 日前に批准し、 承認書又は加入書を寄託 効力発生上, 批准書、 受諾 ただし、 その通告は、 連合王国政府 受諾書又は加 しなかつたと 承認し、 可能なときは 理事会は 困 一難のた 九 (1)の規 百六 叉は が

shall first be agreed upon by the Council with that

ARTICLE 6

 $\widehat{\Xi}$

- This Protocol shall enter into force on 1 January 1964 among those Governments which have by that date become parties to this Protocol, provided that such Governments hold 60 per cent of the votes of the importing countries and 70 per cent of the votes of the exporting countries under the Agreement on 31 December 1963. Instruments of ratification, acceptance, approval or accession deposited thereafter shall take effect on the date of their deposit.
- (2) of the United Kingdom of Great Britain and accession in accordance with constitutional proextend the period beyond 1 July 1964 to such provided that, if the Council is satisfied that ratification, acceptance, approval or accession regarded as equal in effect to an instrument of Northern Ireland before 1 January 1964 shall be before 1 July 1964, received by the Government cedures as rapidly as possible and if possible to seek ratification, acceptance, approval or tocol in accordance with paragraph (1) of this its constitutional processes, the Council may instrument owing to difficulties in completing the Government concerned has not deposited its Article a notification containing an undertaking For the purposes of entry into force of this Proas it may determine

(3)率に達しない場合には、 、政府は、 ·九百六十四年一月一日に を批准し、 この議定書の当事国となる政府の有する票数 この議定書の効力をそれらの政府の間で生じさせ 受諾し、 承認し、 この議定書に署名し、 おいて、 若しくはこの議定書に (1)に規定する票数 の百分率 又はこの議 加入し の百 定 分

第七条

ることを合意することができる。

当事国 四十 K 第三十四条に掲げられ 含まれる政府又は国に言及する場合には、 議 協定 掲げられ、 一条4)の規定に従つて千九百六十四年一月一日前に協定 ₀ 政 の 分府に 当事国政府に 適用上、 規定され なり、 協定の特定の条に掲げられ、 又は第四条及び第五条の規定に従つてこの てい なつたものは、 又は含まれているものとみなす。 ない国であつて、 それぞれ、 協定第三十三条又は その政府が協定第 規定され、 当該特定の 叉は 条 \mathcal{O}

第八条

る。 第三十八条の規定に基づく自国の分担金を支払りことを約束すのの議定書の当事国政府は、その憲法上の手続に従つて協定

第九条

千九百六十三年の国際連合砂糖会議に出席したすべての政府にグレート・ブリテン及び北部アイルランド連合王国政府は、

九五八年国際砂糖協定の再延長議定書

If by 1 January 1964 Governments holding less than the percentage of votes referred to in paragraph (1) of this Article have become parties to this Protocol, the Governments which have signed, ratified, accepted, approved or acceded to this Protocol may agree to put it into force among themselves.

(3)

ARTICLE 7

Where, for the purposes of the operation of the Agreement, reference is made to Governments or countries listed, named or included in particular Articles, any country not referred to in Article 33 or 34 of the Agreement the Government of which either has become a party to the Agreement prior to 1 January 1964 in accordance with paragraph (4) of Article 41 of the Agreement, or has become a party to this Protocol in accordance with Articles 4 and 5 of this Protocol, shall be deemed to be listed, named, or included accordingly.

ARTICLE 8

Governments party to this Protocol undertake to pay their contributions under Article 38 of the Agreement according to their constitutional procedures.

TICLE 9

The Government of the United Kingdom of Great Britain and Northern Ireland shall promptly inform all Governments attending the United Nations Sugar

議定書への各加入、第六条20の規定に従つて受領した各通告並対し、との議定書の各署名、各批准、各受諾及び各承認、との

びにこの議定書の効力発生の日を直ちに通告するものとする。

北部アイルランド連合王国政府に寄託しておくものとし、同政ベイン語の本文をひとしく正文とし、グレート・ブリテン及びこの議定書は、中国語、英語、フランス語、ロシア語及びス

委任を受け、この議定書に署名した。
以上の証拠として、下名は、このため各自の政府から正当に送付するものとする。

千九百六十三年八月一日にロンドンで作成した。

(署名欄省略)

Conference, 1963, of each signature, ratification, acceptance and approval of this Protocol, of each accession thereto, of each notification received pursuant to paragraph (2) of Article 6 and of the date of entry into force of this Protocol.

This Protocol, of which the Chinese, English, French, Russian and Spanish texts are equally authentic, shall be deposited with the Government of the United Kingdom of Great Britain and Northern Ireland, which shall transmit certified copies thereof to each

signatory and acceding Government.

IN WITNESS WHEREOF the undersigned, having been duly authorized to this effect by their respective Governments, have signed this Protocol.

DONE at London the first day of August, one thousand nine hundred and sixty-three.